



ファスティングとVCによる癌治療の可能性

南カリフォルニア大学の研究チームは、Nature Communication誌に発表した論文で、ファスティング・ミミックグ・ダイエット (FMD※) とビタミンCの摂取を組み合わせることで、マウスの大腸癌の進行を遅らせる、もしくは癌を縮小させる効果がみられたと報告しています。この効果は、KRAS遺伝子の変異がある癌細胞でのみ検出されたことから、FMDがKRAS変異型の癌に対するビタミンCの薬理効果を高めると考えられます。(KRAS変異は、大腸癌の最大半分ほどに存在すると言われています)。研究チームは、「in vitroでは、FMDおよびVCはそれぞれ単体でも抗癌効果を発揮するが、共に使用することでほぼすべての癌細胞が死滅した」と報告しており、今後さらなる効果検証やヒトでの臨床試験が期待されます。(2020年5月 University of Southern California)

※FMDとは、低カロリーな植物ベースの食材を適量摂取することで、細胞が断食状態と同様の反応を起こすことを目的とした食事法。

汗中のVC量をモニターできるウェアラブル端末

カリフォルニア大学サンディエゴ校は、肌に貼るだけで汗中のビタミンC量をモニターできるウェアラブル端末を開発しました。端末は非侵襲性のシール状になっており、発汗を促進すると同時に、電極センサーがVC量を測定します。治療過程においてVCが重要になる感染症の重症ケースや、癌治療などでの使用が期待される他、今後は一般市場での販売を視野に開発が進んでいます。(2020年5月 UC San Diego School of Engineering)



1日375gの最適な割合は野菜と果物3:2

アメリカ心臓協会の機関誌であるCirculationに発表された論文では、約200万人を対象とした26の研究結果を分析したところ、慢性疾患のリスクや全死亡率を下げるために最適な野菜・果物の摂取量は1日5サービング(約375g)であり、そのうちの割合は野菜が3、果物が2が最適であることが分かりました。375g以下の場合には摂取量が増えることで死亡率が低下しましたが、375g以上の場合には追加メリットは見られませんでした。報告の中では、野菜・果物の中でもでんぷん質の野菜(ジャガイモ、トウモロコシ、豆など)や野菜ジュースは疾患リスクの低減とは関連がなく、葉物野菜や、ビタミンCやβカロテンなどが豊富な野菜や果物に健康メリットがある、と強調されています。

(2021年3月 American Heart Association)

ビタミンCトランスポーターの発現が治療効果に影響

ジョージア医科大学の研究者らは、ビタミンC療法の効果が、ビタミンCトランスポーター(細胞内へのビタミンCの輸送を担うたんぱく質)の発現レベルや遺伝子変異によって左右される可能性があるとしてAging and Disease誌に発表しました。このトランスポーターの発現量の違いが、VCを使用した様々な疾患における治療効果に個体差が出る理由の一つと考えられると研究者は述べています。VCトランスポーターの発現量は老化や酸化ストレスによって減少することが分かっており、加齢に伴う免疫機能低下の一因とも考えられています。今後、トランスポーターの発現を増やす手法や薬剤が明らかになることで、IVCなどの治療が更に効果的に実施できる可能性が期待できます。

(2020年11月 Medical College of Georgia at Augusta University)

INTERVIEW

柳澤 厚生

新型コロナ時代に活かす 点滴療法の戦略

柳澤 厚生先生 海外最新情報

田中 善先生 症例報告

高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例

新福 泰弘先生 症例報告

Biofunction Dental Medicine ®(BDM®)コンセプトにて全身の健康を同時に目指す
Full Mouth Reconstruction

会員クリニックのご紹介 vol.1

鎌倉元氣クリニック

会員サービスのご紹介

予約サービス開始!
集患サポートバックモニター募集!

新型コロナ時代に活かす 点滴療法の戦略

2020年は新型コロナウイルス(COVID-19、以下「新型コロナ」)のパンデミックにより、多くのクリニックで患者が激減、秋からようやく回復の兆しが見えました。その中で、高濃度ビタミンC点滴(IVC)の治療件数とサプリメントの売り上げを堅実に伸ばしているクリニックが増えています。新型コロナの時代だからこそ、ビタミンC点滴や栄養療法が求められています。

私は昨年1月に国際オーソモレキュラー医学会ウェブサイトで新型コロナの感染と重症化の予防にビタミンC、ビタミンD、亜鉛などのサプリメントを(1)、また米国の統合医学専門誌Townsend Letterに新型コロナの治療にIVC(12.5g~25g)を提唱しました(2)。

その後、新型コロナの入院患者にIVCを補助療法として加えることにより、入院期間や有症状期間の短縮、PaO₂/FiO₂の改善、死亡率の減少、炎症マーカーとしてインターロイキン-6の減少などの報告が相次ぎました(3-5)。

また、ビタミンC、ビタミンD、亜鉛などの欠乏が新型コロナの感染や重症化を生じること、またこれらの栄養素の投与により症状を改善し、重症化を防ぐことも明らかになっています(6)。昨年10月にアメリカ前大統領のドナルド・トランプ氏が新型コロナに感染した時も、主治医はビタミンDと亜鉛をトランプ氏に処方していました。

さて、日本の現場を見てみましょう。2021年2月17日より日本でも新型コロナのワクチン接種が始まりました。しかし、本原稿を執筆している4月7日の時点で初回のワクチン接種を受けたのは15才以上の人口の1.3%に過ぎません。ワクチンの入荷が遅れば、全ての国民にワクチンが行き渡るのは秋から来年以降になるかもしれません。

柳澤厚生 (やなぎさわ あつお)

杏林大学医学部卒業、同大学院修了。医学博士。米国ジェファーソン医科大学留学、杏林大学医学部内科助教授、同大保健学部救急救命学科教授を経て、2008年より国際統合医療教育センター所長。また、神奈川県鎌倉市にスピックサロン・メディカルクリニック(現・鎌倉元氣クリニック)を開設。米国先端治療会議認定キレーション療法専門医(CCT)、アメリカ心臓病学会特別正会員(FACC)。2009年第10回国際統合医学会会頭。2012年より国際オーソモレキュラー医学会会長(カナダ)。2011年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入り(カナダ)、2014年アントワープ・ベリヤン賞(フランス)、パールメーカー賞(アメリカ)、世界神経療法会議最優秀アカデミー会員(エクアドル)を授与される。2018年国際オーソモレキュラー医学会第47回東京大会会長、2019年日本オーソモレキュラー医学会第1回会頭。著書に「ビタミンCががん細胞を殺す」(角川ISSC)、「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」(GB)、「つらくないがん治療：高濃度ビタミンC点滴療法」(GB)、「奇跡を起こす点滴でアンチエイジング」(主婦の友)などがあり、海外でも翻訳出版されている。

点滴療法研究会
会長
柳澤厚生先生



▲国際オーソモレキュラー医学会 コロナウイルスに対する栄養療法に関する記者会見の様子(2020年3月)

そうすると、患者さんはワクチンの順番が来るまで、じっと静かに待たなければならないと不安を募らせます。また、アレルギーのためにワクチンを打てない人、また副作用が心配でワクチンの接種を躊躇している人もいます。この時に患者の不安を解消するのが点滴療法研究会の会員の先生の大切な役割です。

なにもせずに接種の順番をひたすら待っている必要はありません。栄養の欠乏を改善、抗酸化レベルを高めておくことで免疫力が高まり、新型コロナの感染と重症化の予防となります。具体的にはビタミンC、ビタミンD、亜鉛などの栄養の欠乏をサプリメントで改善し、かつ定期的なビタミンC点滴により体内の抗酸化レベルを高めます。

感染症予防と重症化を防ぐための サプリメントの種類と推奨量

- | | |
|------------|-------------|
| (1) ビタミンC | 3g/日 以上(分服) |
| (2) ビタミンD3 | 2,000IU/日 |
| (3) 亜鉛 | 20mg/日 |
| (4) セレン | 100 ug/日 |
| (5) マグネシウム | 400mg/日 |

感染した場合 点滴+サプリメント

軽傷：マイヤーズ + IVC 12.5g
重症：マイヤーズ + IVC 25g

私はクリニックの患者さんには、新型コロナ対策に定期的な高濃度ビタミンC点滴(12.5~25g)と、サプリメントとしてビタミンC 2~3g/日、ビタミンD 2,000IU/日、亜鉛20mg/日を処方しています。その時には次のように説明します。

「新型コロナは若い人には無症状か風邪程度の症状で済むということは、人間はこのウイルスを克服できる能力があります。しかし、高齢者ではこの能力が低下しているために重症になり、亡くなってしまふ方がいます。この能力とは免疫のことです。免疫は特定の栄養が欠乏していると下がってしまうので、サプリメントで補う必要があります。次にビタミンCの点滴で体の抗酸化能力を高きましょう。免疫力が高ければコロナに感染しにくくなり、感染しても重症になるのを防ぐことができます。」

私は患者さんに必ず血中ビタミンD濃度を測定します。殆どの方が欠乏をしているので、新型コロナに感染しやすい状態です。ここを切り口にお話しをすると理解をしてもらえます。

点滴療法研究会では新型コロナに対する会員の皆様の活動を期待し、支援をいたします。ぜひ、先生のお力で市民の不安を安心にかえてください。

<文献>

- (1) Saul A: Orthomolecular News Service 2020; Jan 27.
- (2) Saul A and Yanagisawa A: Townsend Letter 2020; April 6.
- (3) Kumari P et al. Cureus. 2020;12(11):e11779.
- (4) Zhang J et al. Ann. Intensive Care 2021; 11:5.
- (5) Cheng RZ. Med Drug Discov. 2020;5:100028.
- (6) Grant WB et al. Nutrients 2020;12:988

症例報告



医療法人仁善会 田中クリニック
理事長 **田中 善** 先生

高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例

症例1

Y.Y. 77歳 女性

診断

悪性リンパ腫 (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)

経過

PETで右腋窩部のリンパ節に集積があり、2020年4月右頸部、左鎖骨上窩、両腋窩、縦隔、腹部大動脈～外腸骨動脈周囲リンパ節腫大。生検の結果、悪性リンパ腫 (DLBCL)と診断。抗がん剤を勧められたが拒否。

2020年5月20日から高濃度ビタミンC点滴療法 (IVC)開始 (2021年3月25日現在VC60g週1回)。水素点滴併用。リポカプセルVC:2包/日、VD3:5,000IU/日、ホメオパシー療法施行。2021年3月19日IL-2R:347 (2020年3月10日IL-2R:1655)と正常範囲内、CT:改善 (腫大リンパ節縮小)。

評価

IVCとVC、VD内服を中心に治療して、全身状態も良好に経過している。高齢者でもあり、抗がん剤治療をした場合の副作用の懸念もなく、IVCの効果で寛解に持ち込むことができた。

症例2

S.K. 52歳 男性

診断

膵がん (膵尾部がん)、腹膜播種

経過

2019年12月ごろから、血尿、背部痛、腹満感を自覚し、精査したところ、膵尾部がん、腹膜播種、T3N1M1、stageIVと診断。腹水貯留。2020年2月より抗がん剤 (nab-GEM)投与開始。3月胆管閉塞 (ステント留置)。5月十二指腸閉塞 (ステント留置)。抗がん剤 (FOLFIRINOX)投与。

6月30日から高濃度ビタミンC点滴療法 (IVC)開始 (3月15日現在60g2週に1回)。富元酵素を飲用してから急激に、食欲改善し、便通も改善し、栄養状態改善。腹水も貯留せずに全身状態はきわめて良好になっている。CT上も縮小傾向にあり、抗がん剤も減量している。2021年2月17日CA19-9<2 (2020年5月28日CA19-9:64)と正常範囲内になっている。全身状態は改善し、食事也十分に摂取でき、QOLは向上している。

評価

膵がんの進行した状態であったが、抗がん剤の効果もあつたと思われるが、当院受診前までかなり全身状態が悪化していたことを考えると、IVCや腸内環境が改善したことにより全身状態や免疫機能が改善し、がんの縮小に結びついたと思われる。



症例報告



医療法人インペリオクリニック 理事長
BDM® CENTER長
新福 泰弘 先生

Biofunction Dental Medicine ®(BDM®)コンセプトにて全身の健康を同時に目指す Full Mouth Reconstruction

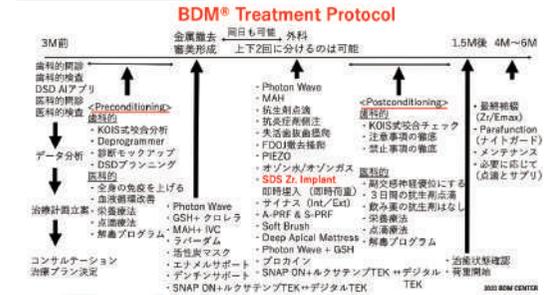
筆者は過去20年にわたり、世界的に活躍するKOIS、VOLZ、PICOS、COACHMANなどの著名な歯科臨床家やRE、BAEZAなどの著名な医科臨床家を直接尋ねその本質を学んできた。それらのエッセンスを統合し体系化したものがBDM®である。

BDM®プロトコルに従って ①Preconditioning ②口腔内治療 ③Postconditioning を行えば、生物学的、機能的そして審美的に患者も我々も大変満足できる治療結果が得られる。同時に全身の健康状態改善への寄与が大きい (図1:BDM®プロトコル)。

本ケースの患者は60代男性であり、口腔内には多数の金属、失活歯、FDOJなどの生物学的問題があり、また、咬合機能、審美そして根尖病巣などの歯科的問題もあった。主訴は、「口腔全体を根本から治し、再発しないようにしたい」であった (写真1:初診)。

まず、多岐にわたる歯科的問診、医科的問診から始まり、各種歯科検査、血液スクリーニング検査、顔貌/口腔内写真、CTなどのデータを収集し、分析し、治療計画を立案した。2回目来院時に、治療計画のコンサルテーションを行い、最終治療プランが確定し治療契約と同意書を締結した。

▼図1:BDM®プロトコル



▼写真1:初診



▼写真2:治療完成後3年



①Preconditioningにおいては、PhotonWaveによる解毒、サプリメントによる25(OH)VD、ホモシステインそしてLDLコレステロールなどの適正化、血液オゾン療法などの点滴療法による抗炎症、抗酸化、血液循環改善、副交感神経活性化そしてDeprogrammerによる顎関節のCentricRelation(CR)獲得などを行い、万全な口腔内治療を実行するための準備を行った。

②口腔内治療では、全ての金属撤去と顎関節がCRにおけるTEK装着を1日で行った。次にミダゾラムSedation下にて全ての失活歯の抜歯、FDOJ撤去、Piezoとオゾンガスを用いた搔爬と消毒、即時のSDSジルコニアインプラント埋入、そしてTEK装着と咬合調整を別の1日で行った。これによって、口腔由来の全身への有害物質は全て消去され、咬合機能が適正化され、審美性が改善した。

③Postconditioningでは、Photonwave解毒療法、点滴療法、サプリメント療法を継続した。特に、腸内環境を守るため抗生剤は経口ではなく、術後3日間の点滴投与を行った。術後6ヶ月目に最終補綴に入り、CRにて正常な咬合機能が回復された状態にてジルコニアによる治療が完成し、審美性も改善した (写真2:治療完成後3年)。

患者は長年の腰痛に悩まされていたが、治療後は腰痛が消失しそれは現在も持続している。これには失活歯やFDOJの撤去が寄与していると考えしている。

現在、半年に1度のチェックアップでは血液オゾン療法とマイヤーズカクテル点滴を希望され、また、口腔を含めた全身の健康維持のために推奨サブリを継続して服用されている。口腔内の問題再発は皆無であり、治療結果に大変満足されている。

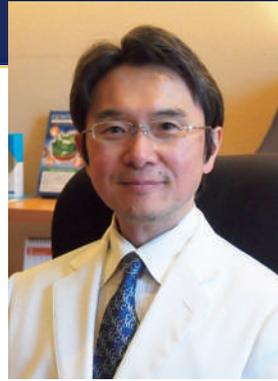
少ない通院回数で精度の高い治療結果の得られるBDM®は、まさに歯科におけるGAMECHANGERである。



SPIC Clinic Medical Partner

鎌倉元氣クリニック

院長
松村浩道 先生



[略歴]

平成5年日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室、関東通信病院（現NTT東日本関東病院）ペインクリニック科、医療法人誠之会氏家病院ペインクリニック科・精神科等を経て、平成29年10月よりスピッククリニック院長。日本医療・環境オゾン学会理事、同臨床研究部会長。日本レジリエンス医学研究所（米国ストレス研究所日本支部）代表。ペインクリニック専門医、温泉療法医、認定産業医。著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」（マイナビ出版）「脳腸関連で未病を征す」（七星出版）がある。

クリニックに導入している点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療)
- 高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング)
- アルファリポ酸点滴療法
- マイヤーズカクテル(ビタミン・ミネラル点滴)
- グルタチオン点滴療法
- キレーション療法(Na-EDTA)
- 血液オゾン療法

専門分野・得意とする点滴療法を教えてください

元々の専門はペインクリニックですが、全人的なアプローチを志す過程で東洋医学や精神医学、温泉療法などを学びました。現在は、点滴療法はもちろん、東洋医学やバイオフィードバック法、運動療法、腸内環境の適正化などを取り入れたトータルケアを行っています。なかでも各々のレジリエンス(=ストレスを乗り越える力)を高めるアプローチを大事にしており、この観点から点滴療法としては特にオゾン療法に力を入れています。現在、日本医療・環境オゾン学会臨床研究部会長としてオゾン療法の指導・普及を行っています。また、点滴療法研究会会長・柳澤厚生名譽院長より薫陶を受けた高濃度ビタミンC点滴も得意としています。

先生のクリニック運営にて力を入れている点を教えてください

■ トータルヘルスケア・治療

当院の名譽院長・柳澤厚生先生は、点滴療法研究会会長・国際オーソモレキュラー医学会会長として、高濃度ビタミンC点滴をはじめとする点滴療法を広く日本に普及しました。

その理念を引き継ぎ、点滴療法を主体としながらも、個別化医療・多面的医療の観点から様々な方法を駆使したトータルヘルスケア・治療を行っています。

具体的には、分子整合医学と遺伝子分析を応用した食事・栄養指導、次世代ストレスマネジメントであるバイオ/ニューロフィードバック法などのレジリエンスを高めるアプローチ、脳腸関連の観点から行うオーダーメイドプロバイオティクス療法、地下に併設したジムでのパーソナルトレーニング、身体の歪みを整える楽健術整体など、患者様のご要望に応じ適宜組み合わせることで実施することが可能です。

■ メディカルディレクターの配置

メディカルディレクターという専門スタッフが、患者様のご希望にお応えする窓口として細やかな対応をさせていただきます。クリニックに滞在される時間をより快適に過ごして頂けるよう、設計の段階から配慮された特別な空間を味わって頂きたいと思っております。



落ち着いた待ち合いスペース

点滴ルーム



クリニック入り口/カウンセリングデスク

先生が点滴や治療において心掛けていることは何ですか？

まず、患者様のお話をじっくりお伺いすることを大切にしています。10人の患者様がいらっしゃれば10人それぞれのストーリーがあります。私たちはその物語(Narrative)を大切に、寄り添う医療であるNBM(Narrative-based Medicine)を志しています。

治療方針についても十分な時間をかけて説明し、ご納得頂いた上で受けて頂くことを心掛けています。サイエンスとしての根拠に基づいた医療(Evidence-based Medicine, EBM)はもちろん大切ですが、人間味溢れる医療ともいえるNBMとのバランスを重視して診療に当たっています。

マスターズクラブ会員の先生へのメッセージ

ぜひ一度、クリニックにお越しください

ぜひ一度クリニックへお越しいただき、鎌倉元氣クリニックのトータルヘルスケア・治療をご体感ください。

当クリニックは、患者さまのご要望に応じ、ご家庭でできる食事・栄養指導を行ったうえで、当クリニックでできる治療、地下に併設したジムでのトレーニング等を組み合わせでご提案しております。

クリニックへお越しの際は、院内や地下ジムをご案内させていただきますので、ぜひ気軽にお越しください。

点滴療法研究会の会員の先生方は、保険診療の枠に縛られることなく患者様の健康を最優先する志を持っていらっしゃる大切な同志です。研究会等でお目にかかる機会がありましたら、是非気軽にお声かけ頂ければ嬉しく存じます。



2021年
松村先生 ボードメンバー就任!
おめでとうございます!

鎌倉元氣クリニック

- 診療科目 ペインクリニック内科/内科/心療内科
- 電話番号 0467-22-3000
- 公式サイト <http://www.spicclinic.com/>
- 責任者 松村浩道 院長 日本医科大学卒業 勤務開始年 2017年
- 所在地 〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町2-12-30 BMビル3F
- 診療時間 平日9:00~18:00 (土日休診)

NEW クリニック詳細ページ作成サービス スタート!

有料オプション

患者さまが点滴療法を実施している会員クリニックを検索しやすいように、当会ウェブサイトでご紹介。さらに、ドクターインタビューなど、クリニックのイメージが付きやすい詳細ページ作成で、より強力な訴求が可能となりました!ぜひご利用ください。



詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶▶▶▶

会員ログイン後
ご覧いただけます



会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にするため、患者様に質の保証をする認定医制度を設けています。合格者には認定証を発行、ホームページのクリニック検索にて情報公開。

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会
日本オーソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニックのご紹介
- NEW 集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

動画サイト おすすめ動画をご紹介します！



点滴療法を動画で学ぼう！

動画サイトの「学習動画」では、様々な点滴療法や栄養療法を学べます。「1日のセミナー」「講演ごと」など、見たい講演のみご視聴いただけます。また、柳澤会長による「無料のワンポイント動画」もご用意。ぜひ、ご利用ください。

無料

点滴療法研究会
忙しいのための IVC

簡単にワンショットで静注！
忙しい院長の IVC PUSH

無料

点滴療法研究会
ビタミンC 経口投与と点滴との違いは？

ビタミンC 経口投与と点滴との違いは？

無料

点滴療法研究会
ビタミンDを15分で測定！

検査項目の1つに追加したい先生におすすめ！
ビタミンDを15分で測定

NEW

4月末配信予定！ 点滴手技動画

自費診療のクリニックにて
実際のコツやポイントを
分かりやすく解説

穿刺のコツ・血管の選び方

ミキシング・プライミングのコツ
～高濃度ビタミンC点滴 25gの場合～

こんな時どうしたらいいの？
点滴中の起こりやすいトラブルについて

こんな先生にオススメ

- ・手技に不安のある方
 - ・点滴を導入したばかりの方
 - ・スタッフに学ばせたい方
 - ・改めて手技のおさらいをしたい方
- 等々

NEW

「集患サポートパック」モニター 募集中！

最大
40%
OFF

インターネットからの集客を増やす 集患サポート付きホームページ制作サービス

点滴療法研究会監修の元、ウェブサイト制作・ウェブ集患サポート・院内広告をセットにした新しいサービスをスタート。

お気軽にお問い合わせください

- ・ホームページにお困りの方
- ・インターネットを上手に運用した集患方法を知りたい方
- ・興味があるので、まずは話を聞いてみたい方



詳しくは
同梱のチラシを
ご覧ください！

「クリニック詳細ページ作成サービス」 「予約システムサービス」開始！

掲載無料
昨年リニューアルオープン

年間検索数
約30,000回！

クリニックの認知を高めよう！

患者様が点滴療法を実施している会員クリニックを検索いただける「クリニック検索サイト」。この度、「クリニック詳細ページ作成サービス」「予約サービス」を開始いたしました。自院の情報発信、集患のツールとして、ぜひご活用ください。

■掲載条件■ マスターズクラブ会員 / ベーシックセミナーⅠの受講

掲載のご希望は入会申し込み時に入会申込書にて承っております。マイページよりご自身でクリニックの情報や写真を更新してください。ご不明点がございましたら、事務局までご連絡ください。

ご自身で更新ください！
NEW
無料

「クリニック予約サービス」

クリニック情報を見た患者様を逃さない！
検索画面から、
予約が可能になりました。

マイページにて予約フォームのご利用にご自身でを入れてください。



お申込み受付中！
有料
オプション

「クリニック詳細ページ作成サービス」

- 掲載内容
- 院内写真(1~5枚)
 - 医院の特徴
 - ドクターインタビュー
 - 得意とする点滴療法
 - 治療へのこだわり
 - 患者様へのメッセージ
 - 診療時間案内
 - アクセス情報



クリニック詳細掲載でより
強力な訴求が可能に！

医学コラムを募集&配信中！

ご自身の持っている知識を共有しませんか？メルマガ・会員サイトにて配信しています。コラムをきっかけに先生方の学び・繋がりに。ぜひ、ご覧ください。

コラムを一部ご紹介

- 第27 回米国アンチエイジング医学会(A4M)ワールドコンgresの報告 / 点滴療法研究会マスターズクラブ会長 柳澤厚生先生
 - がんに対する免疫の重要性を認識する最近の治療法の傾向 / 医療法人仁善会 田中クリニック 理事長 田中善先生
 - コレステロール代謝と体内環境 / 統合医療 ハートフルクリニック 院長 平良茂先生
- 等々

この機会にぜひ応募ください！

コラム記事
募集中！

過去コラム
ログインが必要です。





アークレイ株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。

TEL.050-5527-7700



Wismettacフーズ株式会社
ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォーローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご活用いただけます。

TEL.03-6870-2006



株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。

TEL.048-291-8802



株式会社デトックス

株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。

TEL.03-5876-4511



株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソディン プロ】細胞内の抗酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。

TEL.03-3538-5811



株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。

TEL.03-5286-7010



株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご活用ください。

TEL.03-6811-1318



自費研株式会社

自費診療領域にて、独自の切り口と質の高い情報量で自費診療と自費経営のコンテンツやメディア、セミナーやイベントを提供し、自費診療で医療経営を強くすることを目的とした会員型プラットフォームサービスです。

TEL.03-4540-6583



株式会社サルベストロールジャパン

ニュージーランドのサルバケア社より認定を受け、日本におけるサルベストロールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。

TEL.03-6450-2406



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

オーソモレキュラー医学とはビタミンやミネラル等の栄養素を正しく取り入れ、病気の予防や治療を行う治療レベルの栄養療法です。今年10月16日～17日東京開催の第3回総会で豪華な講師陣より最新情報を学びませんか。

TEL.03-6821-1461



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

約2,300の医療機関で導入される乳酸菌生成エキス『アルベックス』、認知症対策サプリ『プラスマローゲン』を扱っております。ご興味のある方は弊社公式ホームページ、又は下記TEL番号よりご資料請求くださいませ。

TEL.03-3288-0068



株式会社薬事法ドットコム

ドクターのためのオンラインサロン・メディカルビジネスサロン(月会費11,000円)では、医師・歯科医師の悩みを解決しながら、企業等とのマッチングを通して医師・歯科医師の個人年収1億円以上の達成を目指します。

TEL.03-6274-8781



アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー/重金属(唾液・尿)/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO(呼吸)/ビタミンD/男性・女性ホルモンなど)

TEL.044-299-7947



株式会社MSS

医師向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養医療とサプリメント販売のノウハウ」を、先生方にご提供いたします。

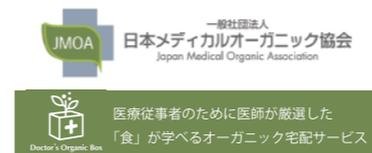
TEL.03-5366-0208



株式会社スピック

「細胞は直接ほしがっていた。」Lypo-Cはリポソームの中にビタミンCを包み込みました。リポソームビタミンCは理想的なビタミンCのとりかたを実現します。

TEL.0467-23-8161



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に戻った食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。

TEL.03-6277-3011



株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術を必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。

TEL.03-5799-7085



株式会社ウェルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。

TEL.03-5276-6071



株式会社玄米酵素

(株)玄米酵素 1971年創業 「玄米酵素」玄米、胚芽 表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ 学術論文が30本以上 140以上の医療機関がご利用 ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富

TEL.011-736-2345



第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に、様々な口腔内病変の改善を目的とした、フコイダン・白なた豆エキスを含有した口腔内専用の製品

TEL.06-6131-0370



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包化等、多彩なサービスを取り揃えています。

TEL.03-5530-2212



共同購入VC受注代行センター

(有限会社ディスインターナショナル) 厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerwag社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

TEL.03-6300-0152